

「私たちの街をつぶさないで」

私たちの街をつぶさないで——若者に人気の東京・下北沢で、商店街を分断する大型道路の建設反対運動が広がっている。これまでは署名活動中心に取り組んできたが、11月には全国にアピ

ールする大規模なイベントを計画している。反対運動を推進するのは、昨年11月に発足したセイブ・ザ・下北沢。昨年2月、東京都と世田谷区が北口商店街を分断する幹線道路級の幅26メートル

「都市計画道路補助54号線」と、駅前広場を突っ切る「区画街路10号線」を建設する都市計画を決定したのが発端だ。

キタを愛する文化人などが参加。署名には音楽や演劇、文筆はじめ各分野の著名人、建築家や都市計画研究者などの賛同

3分の1の店舗が立ち退きを迫られ、建ぺい率の変更に伴う高層ビル化などで街が壊される」と危機感を募らせている。し

現在、会者約30人が名を連ね、50には地元の店舗や住民、シモ0人が協力している。会では「北口商店街の

下北沢で道路建設反対運動

地元店舗が11月大規模イベント

かし、1年間で集まった署名は5200人分。改めて11月のイベントを起爆剤に、「細い通り沿いに昔ながらの商店街、ライブハウスに劇場、服や雑貨、古着の个性的な小さな店、飲み屋などが混在し、人の触れ合いの中で新しい文化を育んできた街を守ろう」と全国に訴えるつもりだ。